

開催まで残り1か月、遂に全貌が明らかに！
六本木アートナイト 2014

プログラム内容、参加アーティスト、参加型コンテンツなどの詳細が決定
2014(平成26)年4月19日(土)10:00～20日(日)18:00

2014年4月19日(土)～20日(日)に開催が決定している一夜限りのアートの祭典「六本木アートナイト 2014」。六本木アートナイト実行委員会は、この度、アーティストディレクター日比野克彦氏と共に、今回のテーマ「動け、カラダ！」に基づいた各種プログラムの全貌を遂に決定いたしました。

今回で5回目^{※1}を迎える「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に2009年より開催している一夜限りのアートの饗宴です。昨年は延べ83万人^{※2}が来場するなど参加者も年々増加しています。

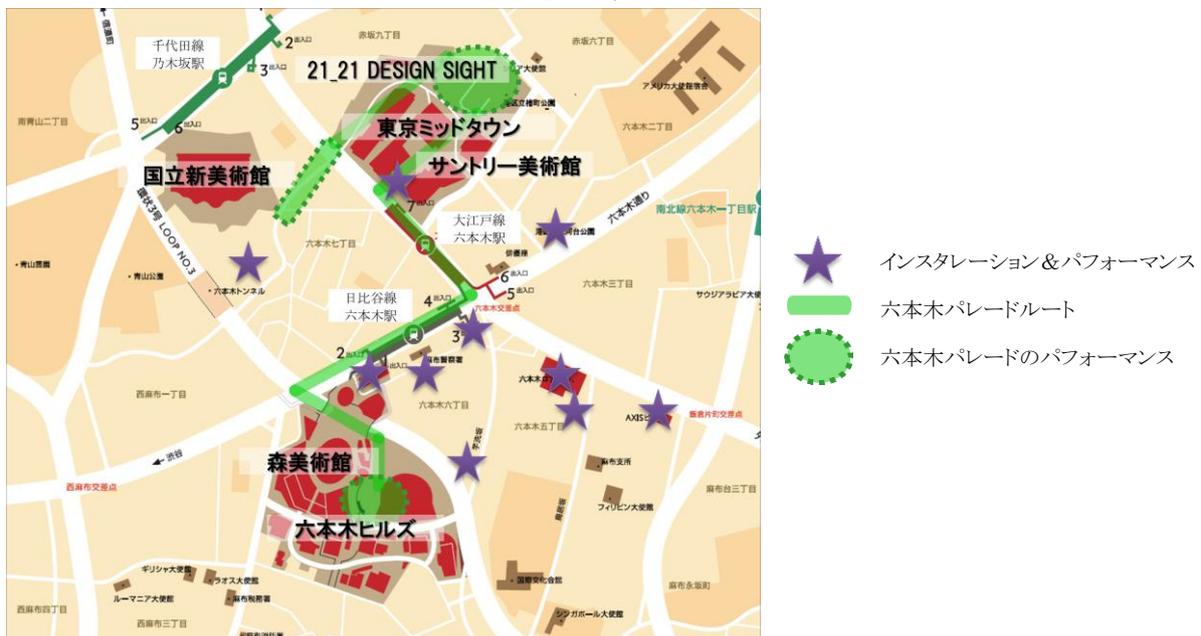
アートを創造するためには目であり、耳であり、手であり、足であり、頭であり、心であり、人間の様々な感覚器官や部位を関わらせる必要があります。今回のテーマ「動け、カラダ！」は、かねてから日比野氏最大の関心事のひとつである「アートの持つ身体性」という側面に目を向けたものです。

今年は、イベント当日だけではなく、当日を迎えるまでの制作過程にも地元をはじめとする皆さんに参加いただき、開催までの期間も一緒に盛り上げていくことにも力を入れています。古着を使った作品《カラダひとつプロジェクト》では、作品制作に参加できる事前のワークショップ《カラダひとつ工房》を3月15、16日に実施し、多くの方々にご参加いただきました。ダンスパフォーマンスを取り入れながら六本木の街で展開する六本木パレード《ふわりたい ながりたい つなぎたい》では、事前公募により選ばれた一般参加者が練習を積み重ね、アートナイト当日にパフォーマンスをお披露目します。他にも、ワールドカップ開幕を直前に控え盛り上がるサッカーとアートを組み合わせた《マッチフラッグプロジェクト》や《ヒビノカップ in 六本木》、また、様々なアーティストや各界気鋭のプロフェッショナルが意見を交換する場《六本木夜楽会(ろくほんもくよらくえ)》など、昨年好評を博した参加型プログラムの実施も決定しました。

参加アーティストも続々と決定。若手からベテランまで日本人アーティストだけでなく、海外から招へいたアーティストも交え、幅広いジャンルのアートを街中のストリート、公園などに点在させ、街を彩ります。

アートナイト当日は、各美術館やギャラリーで開催されている展覧会の特別プログラムや開館時間延長、入場料割引、さらに各店舗での様々なサービスなど、工夫が凝らされた夜通し楽しめるプログラムが満載です。六本木の街中がオールナイトでアートに彩られる祭典に、ぜひご期待ください。

※1: 2011年は東日本大震災により中止 ※2: 全プログラムの延べ鑑賞者数



本リリース内容は2014年3月19日時点のものであり、今後変更になる場合があります。

【「六本木アートナイト 2014」 広域プログラム】

《カラダひとつプロジェクト》 詳細追加

古着を再利用した巨大なパッチワークのアート作品を制作する西尾美也氏が、「六本木アートナイト 2014」のために、六本木周辺で集めた約 2000 枚もの古着を使用した作品 3 点を制作・展示します。

六本木ヒルズアリーナに展示する《人間の家[スカート]》は、色とりどりの古着を約 4m×9m×12 枚のサイズで繋ぎ合わせ、巨大なスカートに見立てた作品で、観る人をやわらかく包み込みます。東京ミッドタウンでは、様々な種類の花柄の古着のみを集めて大きな花を形作る、高さ約 2.5mの《花柄／花》を、国立新美術館では古着から取り出した何千個にもおよぶボタンを雨にみたてたインスタレーション《ボタン／雨》で幻想的な空間を創出します。

このプロジェクトは、制作過程から多くの方々に参加いただくことにも力を注いでいます。作品の材料となる古着を広く一般から募集するとともに、集まった古着で西尾氏と一緒に作品をつくる仲間を募集し、その仲間達と共に現在、六本木で滞在制作を行っています。3 月 15、16 日には公開ワークショップも行い、作家と触れ合いながら作品の完成と、アートナイト当日をみんなで楽しみにするプロジェクトに発展しています。

＜西尾美也氏の作品イメージ＞



A:《人間の家[家]》2010年 撮影:齋藤剛
B:《花柄／花》2011年 撮影:下道基行
C:《ボタン／雨》2011年 撮影:下道基行

西尾美也 プロフィール

1982 年奈良県生まれ。現在は東京とナイロビを拠点に活動する。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。先端芸術表現を専門にし、装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目しながら市民や学生との協働によるプロジェクトを国内外で展開。



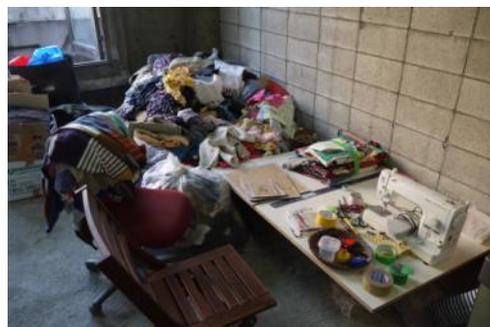
＜現在制作が進行中＞ NEW

現在奈良在住の西尾美也は、「六本木アートナイト 2014」のプレプログラムである「六本木アートナイトスクール」を通して集まったボランティアと共に期間限定のアトリエを六本木に構え、六本木アートナイト当日まで滞在制作を行っています。

ご取材を希望される方は、六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局(TEL:03-5572-6072)までご連絡ください。



アトリエでのボランティアスタッフによる作業風景



アトリエの様子



公開ワークショップの風景

六本木パレード《ふわりたい ながれたい つなぎたい》 **詳細&ルート追加**

ダンサー・振付家の伊藤キム氏が監修する、地元(六本木)の方や一般公募の参加者によるダンスパフォーマンスを取り入れたパレード。

アートナイト当日を前に練習を重ねた約 100 名の集団が、六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館など、六本木の街をパレードで繋ぎます。

身体のパーツや六本木の街、六本木で生活する人々からヒントを得て考案された振付は、見ている人も思わず真似をしたくなる楽しいダンスです。音楽は、作曲家の川瀬浩介氏が担当、今回のパレードのために制作されたオリジナル楽曲でパレードを盛り上げます。衣裳は、参加者自らが美術家 吉田一郎氏監修のもと制作。頭上で揺らぐヒトガタのヘッドセットも、夜の街を流れるように光り輝かせます。

パレードと共に登場する「ろ」「つ」「ぼ」「ん」「ぎ」の文字を運ぶパフォーマーにもご注目ください。

・時間:4月19日(土)18:15~21:00(予定)

・ルート:六本木ヒルズ~六本木通り~六本木交差点~東京ミッドタウン~星条旗通り



イメージ

●六本木ヒルズ

パレードは六本木ヒルズアリーナでのオープニング・パフォーマンスからスタートします。日本女子体育大学の学生たちが踊るダイナミックで痛快なダンス「Bongo Bongo」(ウィリアム・フォーサイス作品より)が、パレードの始まりを告げ、人々をパレードの渦に巻き込んでいきます。

●東京ミッドタウン

キャノピー・スクエアでは、円形のフォーメーションが特徴的な「Bongo Bongo」を日本女子体育大学の学生たちが女子学生の制服を着て踊ります。ダイナミックなその動きは見ている人々を痛快で楽しい世界に引き込みます。その後は館内に移動し、参加者全員によるダンスを披露。いつものミッドタウンにちょっと変わった“身体たち”が突如立ち現れる瞬間をお見逃しなく。

●星条旗通り

参加者全員によるダンス・パフォーマンスでフィナーレへ。パレードのクロージングに相応しく、身体をいっぱいに使った迫力満点のパフォーマンスは、沿道の観客の五感も、パフォーマーの五感もフル稼働させます。

パレード終了後には、国立新美術館で《ふわりたい ながれたい つなぎたい》特別編を行います。パレードに参加したプロダンサーと日本女子体育大学の学生たちが、パレード内の動きを国立新美術館バージョンにアレンジして踊ります。 ※閉館時間の都合上、星条旗通りでのパフォーマンスが延長した場合は、中止の可能性がございます。

伊藤キム プロフィール

1987年、舞踏家・古川あんに師事。95年「伊藤キム+輝く未来」を結成。96年バニョレ国際振付賞、2002年第一回朝日舞台芸術賞・寺山修司賞、08年横浜文化賞奨励賞。近年は教育にも活動の幅を広げ、若手ダンサーの育成や現役中高生との作品制作にも取り組む。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム修了。京都造形芸術大学客員教授。



参加予定アーティスト

吉田一郎(美術家)、川瀬浩介(作曲家)、

ダンサー:伊豆牧子、手代木花野、京極朋彦、井上大輔、KEKE、菅彩夏、御厨亮、三橋俊平、村田圭介、山下彩子、渡邊愛祐美、日本女子体育大学ダンス・プロデュース研究部、他

<今後のスケジュール> **NEW**

事前募集した参加者の練習を以下の日時に六本木ヒルズ内ほかで実施予定です。

また、本番直前となる4月12日は参加者全員が合流しての全体リハーサルも行います。

3月22日(土) 14:00~17:00

3月29日(土) 14:00~17:00 ※16:00-17:00は衣装作りを実施

4月5日(土) 14:00~17:00

4月12日(土) 13:00~17:00 ※六本木近隣の会場を予定

※ご取材を希望される方は、六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局(TEL:03-5572-6072)までご連絡ください。

《街なかウォーク》 **詳細追加**

六本木アートナイトでは、街中のストリートや、公園などに作品を点在させることにより、六本木の街の魅力を発見できる夜をつくり出しています。今年も大型のインスタレーションや、「動け、カラダ！」のテーマに相応しいダンサー、パフォーマーによる生身の身体を使ったダンスや舞台の要素を取り入れたパフォーマンスを各所で実施します。

参加予定アーティストおよび予定作品(一部) **作品紹介追加**

※図版は全て参加予定作家の作品一例であり、今回の参加作品とは限りません。また、実施場所などの詳細は決定次第、公式ホームページにてお知らせします。

● **インスタレーション**

篠田太郎《月面反射通信技術》

自作の天体望遠鏡を通して捉えた、世界のさまざまな都市の月とその都市の街並み。月が現れては消えてゆくその軌跡、その表情がモノクロームの世界で展開されます。



佐藤悠 《ゴロゴロ六本木》

直径 3m の竹で作られた球体(通称:ゴロゴロ)に人が乗り込み、東京ミッドタウンの中を転がりながらパレードの様に進んでいきます。新潟県にある蒔平(あざみひら)集落で09年に始まったこの行いは、集落にある坂の頂上から麓まで転がり下りる行事として定着し、今も毎年お盆の時期に開催されています。



西尾美也《カラダひとつ工房》

会期前より多くの参加者を巻き込みながら制作が進められた西尾美也氏の《カラダひとつプロジェクト》。その制作拠点となった街中の工房が当日特別公開されます。ここでは、西尾氏が制作に費やした数ヶ月の軌跡、作品へのひたむきな思いが感じ取れるはずです。

遠藤一郎 《ときめきティールーム》

ここは『ときめき』を増幅していく無法地帯。遠藤一郎氏が気鋭のアーティストに最高のお茶をふるまいながらずうずうしく迫る Ust トークルームです。(出演予定:泉太郎、山縣太一(チェルフィッチュ)、山下陽光、他)

● **パフォーマンス**

東野 祥子 《世界は不在の中のひとつの小さな星ではないか? —NIGHT バージョン》

ファッションビル「ピラミデ」を劇場に見立て、ダンスと音楽と映像によるパフォーマンスを繰り広げます。敷地内にあるガラス張りのピラミッドを取り囲み、振付家・ダンサーの東野祥子監修により、複数のミュージシャン/DJ、作家、ダンサーたちとともに、いつもと違う夜の空間を演出します。



ヒスロム 《Richard Funky は石がきれい》

「あそこ、ビル風が真上から吹いてきてさ」「公園の石は武家屋敷の石でさ」「蟬は10匹くらい」「ソメイヨシノ、ケヤキ、いちょうの木」「この場所にはそぐわない石だから」
.....Richard Funky との対話 六本木にて



岩淵 貞太 《ダイバー》

パフォーマンスのキーワードは「潜る/潜る人」。屋外ならではの開放的な空間に向き合いながらも、時間や空間、身体の深みへと潜っていくダイバーのように、潜り込みながら、飛び込みながら、場との対話を試みます。



んまつーぽす 《筋肉率 39.0%の身体が宙を切る。そんなダンスです。》

スポーツとダンスの境界域を広げながら活動する「んまつーぽす」が、六本木の各所で体育系パフォーマンスを繰り広げます。まさに競技者として鍛えられてきたパフォーマーたちの身体が夜の六本木の街中でうごめきます。(出演:児玉孝文、みのわそうへい、豊福彬文 演出:高橋るみ子)



《カラダひとつ劇場》NEW

コアタイムの六本木ヒルズアリーナでは、オープニングセレモニー以降、音楽パフォーマンス、ダンスパフォーマンス、サイレントディスコなど、今年のテーマである「動け、カラダ！」を具現化する様々なイベントが夜を徹して開催されます。

西尾美也氏による作品《人間の家[スカート]》のたもとで、参加者がヘッドフォンを片手にリズムを刻むサイレントディスコや、近藤良平氏の音頭のもと繰り広げられる真夜中の盆踊りも1年の時を経て再び登場。この他にも「動け、カラダ！」にちなんだ KENTARO!!氏の振付による東京 ELECTROCK STAIRS の熱いステージや、カポエイラのパフォーマンス、日比野克彦氏とアーティストとのトークイベントなど盛りだくさんです。

・場所:六本木ヒルズアリーナ ・時間:4月19日(土)18:15~20日5:00(予定)

《カラダひとつ広場》NEW

東京ミッドタウンのキャピアー・スクエアではコアタイムの間、インスタレーションを公開するとともに、六本木ヒルズアリーナの展開と一部連動して様々なパフォーマンスを行います。西尾美也氏による作品《花柄／花》の傍では、フラワーアートコンペティション「フラワーアートアワード」で実績のある花作家によるライブパフォーマンスを実施。吉本雄一、渡辺あしな、小野寺衆などの花作家が、フラワーデモンストレーションを披露しながら、フラワーアレンジを完成させ、アートフラワーと生花の饗宴をお楽しみいただけます。また、サイレントディスコや近藤良平氏による真夜中の盆踊りも開催予定です。

・場所:東京ミッドタウン キャピアー・スクエア ・時間:4月19日(土)18:00~20日(日)5:00(予定)

《アート型人生相談“六本木の父”~相談しよう、そうしよう。~》(仮称) NEW

六本木ヒルズアリーナのコアタイム時間中、複数のアーティストが時間を決めて滞在し、観客の質問に答える対話型イベント。数々の修羅場をかいくぐってきた人生の達人ともいえる作家たちが「六本木の父」として、迷える子羊たちの相談にのります。ただし、ここはアートナイトならではのアート型の人生相談。あなたの相談が、作家の「脳」を動かし、参加者との対話によって、作家の「手」が動く!もしかすると、その場でライブな作品が生まれるかもしれません。

・場所:六本木ヒルズアリーナ ・時間:4月19日(土)20:00~20日(日)4:00(予定)

<参加予定アーティスト>

椿昇、山城大督、馬場正尊、ほか

参加方法、参加料金などの詳細は決定次第、公式ホームページにてお知らせいたします。

《第二回六本木夜楽會》

一年に一度、アーティストたちが六本木に集い、出会い、語る日、それが六本木アートナイト。昨年好評を博した、六本木のお店を舞台にアーティストや各界のプロフェッショナルが意見を交換する場《六本木夜楽會》を今年も開催。少人数でアーティストを囲み、ここでしか聞くことのできないクロストークを満喫し、食事を楽しみながら、アーティストと直接コミュニケーションを取ることのできる貴重な機会です。昨年同様、豪華アーティストの参加が続々と決定しています。

参加アーティスト、参加方法、参加料金などの詳細は決定次第、随時公式ホームページにてお知らせいたします。



昨年の様子

《フィード・ラブ》六本木夜楽會フードスペシャル

人が「食べること」の意味を問いかけ、料理だけでなく、その場の空気や食べる人の気持ちまで含めた「食の体験」を創りだすイーティングデザイナーのマライエ・フォーゲルザンク(Marije Vogelzang)。《フィード・ラブ》は、視覚を奪われた状態で、他者から、幼いころの記憶を呼び覚ます食品を口に運んでもらう幼児回帰を促す体験を通して、どう感じ、どんな体験であったかを話しあうプログラムで、食という行為にデザインをプラスして、人の様々な感情を喚起します。

[特別助成]オランダ大使館

・日時:4月19日(土)夕方以降 1回60分 計3回実施予定

・場所:六本木ヒルズ Hills Cafe/Space

・参加費:2,000円

参加方法は決定次第、公式ホームページにてお知らせいたします。



ワークショップ《トレードゲーム ～まちシャッフル～》

日曜の午後、小学生から大人までを対象にするワークショップ。

皆さんは今の「まち」に満足していますか？六本木の街の未来を遊びながら考える《トレードゲーム ～まちシャッフル～》では、住宅やお店、学校など、今の「まち」のアイテムを誰かと交換することで、理想の六本木を作りあげていくワークショップです。ブロックなどを使い、体を動かしながら、みんなで魅力的な「まち」を作ります。

[特別助成]オランダ大使館、アムステルダム市

- ・日時:4月20日(日)12:00～18:00
- ・場所:六本木ヒルズアリーナ
- ・対象年齢:小学3年生以上

<参加予定アーティスト>

The Future (クララ・ヴァン・ダウクレン、ヴィンセント・スキッパー (Klara van Duijkeren and Vincent Schipper))、THE TRADING CITY 研究会 (雨宮知彦、落合正行、小林国弘、照内創)、
んまつーポス

《ヒビノカップ in 六本木》

テーマ「動け、カラダ！」を最も表現できる「スポーツ」を「アート」と融合させたプロジェクト。サッカーに必要なボールやゴール、ユニフォームをすべて手作りし、完成したそれらを使って、子供も大人も入り混じってのサッカー大会を行います。

- ・日時:4月20日(日) 10:00～
- ・場所:港区立六本木中学校
- ・参加費:無料(要事前申込)

申込み方法などの詳細は決定次第、公式ホームページでお知らせします。



《マッチフラッグプロジェクト》

ワールドカップ開幕を直前に控え、サッカーとアートを組み合わせたプログラム。日本代表が出場するワールドカップや、なでしこジャパンが出場するアジア杯の対戦国と日本の国旗をモチーフとした大きなフラッグを制作します。

- ・日時:4月19日(土)、4月20日(日) 時間未定
- ・場所:テレビ朝日 アトリウム
- ・参加費:無料



【六本木ヒルズ プログラム】 詳細追加

六本木ヒルズが一夜限りの美術館に変貌。普段の風景を一変してしまうインスタレーションや体験型の作品など、アートづくりの非日常的な一夜を体験してください。

■インスタレーション作品展示およびパフォーマンス 詳細追加

六本木ヒルズ内各所に、様々なアーティストによる一夜限りの作品が登場します。以下アーティストの他、チームラボ、ゼロバイゼロ、悪魔のしるし、NONOTAK studio などの作品も出展を予定しています。 ※図版は全て作家の既存の作品であり、今回の参加作品とは限りません。



八谷和彦《視聴覚交換マシン》
1993年



小松宏誠
図版:アトリエオモヤ
《Another Moon Tokushima》



SHIMURAabros
《EICON / SAFETY LAST》

■トークイベント「光の蘇生」プロジェクト予告篇 ～《Counter Void》再生をめぐる～ NEW

六本木ヒルズのけやき坂通りに設置された宮島達男氏の作品《Counter Void》。東日本大震災を機に消灯された本作品が、3.11後の日本社会においてどのような姿で再生されるべきなのかを、作家・宮島達男氏が脳科学者・茂木健一郎氏と考えます。

- ・日時:4月19日(土)21:00～23:00
- ・場所:テレビ朝日多目的スペースumu

■響アートラウンジ NEW

日本の美意識を感じ、「上質な熟成を奏でる時間」を体験できるアート空間「響アートラウンジ」が今年も大屋根プラザに出現します。長い年月をかけて熟成を重ね育まれた甘く華やかな香味と日本人の繊細な美意識により作られた優雅で洗練されたボトルデザイン。中味、装い全てに贅を尽くしたサントリーウイスキーの最高峰「響」をご堪能いただけます。

- ・日時:4月19日(土)16:00～20日(日)5:59
- ・場所:六本木ヒルズ大屋根プラザ

■六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー オールナイト開館およびアートナイト特別入館料

海拔250mに位置する六本木ヒルズ展望台も翌朝6:00までオールナイト開館。どこまでも続く光の海や、都市が徐々に色づきはじめる日の出など、「都市という名のアート」をお楽しみください。

- ・日時:4月19日(土)10:00～20日(日)6:00 ※スカイデッキは24:00(23:30最終入場)
- ・料金:4月19日(土)24:00～20日(日)6:00までの時間に限り入館料一般1,000円(左記時間帯以外は通常通り一般1,500円)
※スカイデッキ入場料一般500円

■六本木天文クラブ アートナイト特別星空観察会

オープンエアの展望施設としては日本一の高さに位置している「スカイデッキ」の通常入れないヘリポートに天体望遠鏡を設置し、天文学の専門家と共に星空を観察します。

- ・日時:4月19日(土)19:00～22:00
- ・場所:東京シティビュー「スカイデッキ」(六本木ヒルズ森タワー屋上)
- ・料金:無料 ※東京シティビュー/スカイデッキまでの入場料が別途必要



■森アーツセンターギャラリー「こども展 名画にみるこどもと画家の絆」営業時間延長

開催中の「こども展 名画にみるこどもと画家の絆」営業時間を通常より2時間延長いたします。モネ、ルノワール、ルソー、ピカソ。巨匠たちが愛情を込めて描いた、子供の肖像画が集結します。出展作品の約3分の2が日本初公開。どうぞお見逃しなく。

- ・日時:4月19日(土)10:00～22:00 ※入館は閉館の30分前まで
- ・場所:森アーツセンターギャラリー
- ・料金:一般1,500円、大学生1,200円、中高生800円

■六本木ヒルズ A/D ギャラリー「美島菊名展」営業時間延長

モデルの立ち位置から小道具作りまで細部にこだわった演出で世界観を表現していく美島菊名の写真展の営業時間を通常より1時間延長いたします。

- ・日時:4月19日(土)12:00～21:00
- ・場所:六本木ヒルズ A/Dギャラリー
- ・料金:無料



アンリ・ルソー《人形を抱く子ども》
1904-05年頃 オランジュリー美術館
©RMN-Grand Palais (musée de l'Orangerie) / Franck Raux / distributed by AMF - DNPartcom

<一般の方からのお問い合わせ先>

六本木ヒルズ(住所:東京都港区六本木 6-10-1)

TEL:03-6406-6000(インフォメーションセンター) <http://www.roppongihills.com>

【森美術館 プログラム】

開館 10 周年記念として『アンディ・ウォーホル展:永遠の 15 分』を開催中の森美術館。
4 月 19 日(土)に限り、翌朝 6:00 まで開館を延長し、特別プログラムを展開します。

<特別プログラム>

■スペシャル・トーク「日本で制作されたウォーホル作品:《Kiku》をめぐる物語」 ※日本語のみ

1974 年、東京・神戸の大丸デパートでの個展で注目を浴びたウォーホル。1983 年には日本を代表する花として菊を主題とした《Kiku》を発表しました。この作品の制作や日本におけるウォーホル展開催に携るなど、当時を良く知る 3 者を迎え、作品誕生の秘話や日本におけるウォーホルの受容について紹介します。

- ・日時:4月19日(土)20:00~21:30
- ・場所:マドラウンジ スペース「Andy Warhol Café」(森ビル52F 東京シティビュー内)
- ・出演:綿貫不二夫(ときの忘れものディレクター)、根本寿幸(GALLERY360° ディレクター)、石田一(摺師、石田了一工房代表)
- ・定員:60名 ※森美術館ウェブサイト(www.mori.art.museum)にて予約受付
- ・料金:無料 ※要展覧会チケット

■スペシャル子どもツアー

アンディ・ウォーホルってどんな人?どんな方法で作品をつくったのかな? ※日本語のみ

美術館スタッフと一緒に展覧会を鑑賞した後、アーティストの右田啓子さんを講師に招き、ウォーホルが作品制作で使ったシルクスクリーンの技術を体験します。

- ・日時:4月20日(日)10:30~12:00
- ・講師:右田啓子(アーティスト)、白木栄世(森美術館エデュケーター)
- ・場所:森美術館展示室内、他
- ・対象:小学生
- ・定員:10組、親子参加可 ※森美術館ウェブサイト(www.mori.art.museum)にて予約受付
- ・料金:材料費500円 ※要展覧会チケット

<期間中の展覧会>

森美術館 10 周年記念展『アンディ・ウォーホル展:永遠の 15 分』

ポップ・アートの旗手、アンディ・ウォーホル(1928-1987 年)は、米国に生まれ、消費社会と大衆文化の時代を背景に活躍した、20 世紀後半を代表するアーティストです。デザイナー、画家、映画制作者、社交家と多様な顔を持ち、ジャンルを超えたマルチクリエイターとして活躍しました。

本展は、約 700 点におよぶ初期から晩年までのウォーホルの作品と資料を包括的に紹介する、日本では過去最大級の回顧展です。作家の主要シリーズを網羅した本展はウォーホルを知らない人には「入門編」となり、また、日本初公開の作品も多数含まれるため、ウォーホル通にとっても新たな発見のある展覧会となります。

- ・開催期間:2月1日(土)~5月6日(火・振休)
- ・開館時間:10:00~22:00 (入場は閉館の 30 分前まで)
※火曜日のみ 17:00 まで開館
※4月19日(土)は「六本木アートナイト 2014」開催にともない翌 20 日(日)6:00 まで
※4月29日(火・祝)および、5月6日(火・振休)は 22:00 まで
- ・休館日:会期中無休
- ・入館料:一般 1,500 円、学生(高校・大学生)1,000 円、子供(4 歳~中学生)500 円
- ・同時開催の「MAM プロジェクト 020:ガブリエル・アセバド・ベラルデ」展にもご入館いただけます。

詳しくは森美術館ウェブサイト(www.mori.art.museum)をご覧ください。

展覧会関連企画:Andy Warhol Café

ウォーホルの作品《レイン・マシン》の展示の横に、アンディ・ウォーホル公式カフェを展開します。

- ・開催期間:3月1日(土)~5月6日(火・振休)
- ・営業時間:11:00~23:00
- ・場所:マドラウンジ スペース(東京シティビュー内)
- ・料金:無料 ※東京シティビュー/スカイデッキまたは森美術館の入館料が別途必要
※4月19日(土)は、イベント開催のため18:00まで営業。4月20日(日)は、通常営業。
※4月19日(土)は、18:00以降《レイン・マシン》をご覧いただけません。



アンディ・ウォーホル
《マリリン・モンロー(マリリン)》
1967 年
紙にスクリーンプリント
91.4 x 91.4 cm
アンディ・ウォーホル美術館蔵
© 2014 The Andy Warhol
Foundation for the Visual Arts,
Inc. / Artists Rights Society
(ARS), New York
Marilyn Monroe™, Rights of
Publicity and Persona Rights:
The Estate of Marilyn Monroe,
LLC
marilynmonroe.com



イメージ図

<一般の方からのお問い合わせ先>

森美術館(住所:東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53 階)
TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.mori.art.museum>

【東京ミッドタウン プログラム】 詳細追加

東京ミッドタウンは、「動け、カラダ！」をテーマにした様々なイベントを開催。ライブ、パフォーマンス、ワークショップなど、世界に羽ばたく才能が、動き、饗宴する1夜限りのイベントでアートナイトを盛り上げます。(館内は通常通りの営業時間となります。)

<特別プログラム>

■Mid-Space 詳細追加

アトリウムでは昼夜通して特別イベントを開催。美学校の在学・卒業生集団であり、今年度岡本太郎賞を受賞したキュンチョメを擁する「天才ハイスクール!!!!」が若き才能を集結し、Mid-Space のステージ空間を「体」という文字を使って、自由な発想で遊びます。

昼間はトークやパフォーマンスを開催。コアタイムには、音楽、映像、ダンス、アートが絡み合う一夜限りのライブが繰り広げられます。

- ・日時:4月19日(土)12:00~23:30
- ・場所:東京ミッドタウン・アトリウム
- ・参加料:無料 ※混雑の場合、入場制限を行う場合があります。



<日中プログラム> 4月19日(土)12:00~17:00 に行われるプログラム(一部抜粋)

■フラワーパフォーマンス 14:30~15:30

東京ミッドタウンのパブリックスペースを舞台に開催される、新しいスタイルのフラワーアートコンペティション「フラワーアートアワード」で実績のある花作家によるフラワーパフォーマンス。野崎晶弘、曾我部翔、宮内孝之の3名がスタイルを活かした短編パフォーマンスを演じ、素敵にフラワーアレンジを完成させます。



■Tokyo Midtown Award アートコンペ特別トーク 16:00~17:00

明日を担うアーティストやデザイナーの発掘と応援をするコンペティション「Tokyo Midtown Award」アートコンペの審査員と受賞者によるクロストーク。アワード審査の裏側や、選考のポイント・受賞者の現在の活躍など、ざっくばらんなトークを繰り広げます。

- ・出演者:清水敏男、児島やよい(共に審査員)、角文平、大村雪乃(共に2012年受賞者)、鈴木一太郎(2013年受賞者)

<コアタイムプログラム> 4月19日(土)18:00~23:30 ※各プログラムの時間は決定次第、公式ホームページでお知らせします。

「動け、カラダ！」をテーマに、音楽、映像、ダンス、テクノロジー、アートなど、様々な分野のアーティストが一夜限りのライブパフォーマンスを繰り広げます。

■天才ハイスクール!!!!(現代アーティスト集団)

展示作品の一部を取り出し、それを掲げながら六本木アートナイトの会場を走り回り、その様子をリアルタイム中継。

■ATSUSHI(ダンス/ Dragon Ash) × タブゾンビ(トランペット/ SOIL&“PIMP”SESSIONS) × 柴田雅人(津軽三味線)

身怒り、喜び、哀しみ、希望、あらゆる感情を表現し踊る ATSUSHI による心を揺り動かすセッション。

■西野達(現代アーティスト)

国内外でインスタレーション作品を発表する西野が仕掛ける、動く、踊る！パフォーマンス彫刻。

■宮内優里(音楽家) × 中山晃子(Alive Painting)

少しづつ音を重ねて曲にする“音の実験室”のようなライブ演奏と、色のうねりを投影する“色の実験室”のようなアライブペインティングの華麗なる融合。

■真鍋大度 + 石橋素(メディアアーティスト)

メディアアーティストとして今最も注目を集める2人が最新技術を駆使して表す「動け、カラダ！」。

■cro-magnon(ジャムバンド)

圧倒的演奏力を誇るスリーピースジャムバンドが生み出すグルーブが観客の体を動かす。

■ストリートミュージアム

Tokyo Midtown Award 2013 アートコンペ受賞者が六本木アートナイトに集結。彫刻、絵画、インスタレーションなど、アート作品が今年もストリートをジャック。パフォーマンスやワークショップなどのアートナイト特別プログラムも実施します。

- ・日時:【展示】4月19日(土)10:00~24:00/4月20日(日)10:00~18:00
【特別プログラム】4月19日(土)16:00~23:30(プログラムにより実施時間が異なります)
- ・場所:東京ミッドタウン・プラザ B1F
- ・出展作家: 赤嶺智也、鈴木一太郎、スナックその、中里洋介、山上渡、渡辺元佳
- ・参加料:無料 ※一部プログラムは事前予約制



昨年の様子

■Tokyo Midtown Design & Art Live ~六本木アートナイトスペシャル~ NEW

東京ミッドタウンと TOKYO FM がお贈りする、Design & Art を体感できるライブステージ。今回はアートナイトスペシャルとして、「Tokyo Midtown Award 2012」アートコンペ受賞者大村雪乃氏による、文房具シールで夜景を描くワークショップを開催。さらに、TOKYO FM「LOVE CONNECTION」パーソナリティの LOVE による音楽ライブやダンスパフォーマンスなど一日中イベントが盛りだくさんです。

- ・日時:4月20日(日)11:00~18:00
- ・場所:東京ミッドタウン・アトリウム



イメージ

この他にも、さまざまなアートプログラムを予定しています。

<一般の方からのお問い合わせ先>

東京ミッドタウン(住所:東京都港区赤坂9-7-1)

TEL:03-3475-3100(東京ミッドタウン・コールセンター) <http://www.tokyo-midtown.com>

【サントリー美術館 プログラム】

4月19日(土)は入館料一律500円。また、特別に24時まで開館を延長いたします。

<特別プログラム>

■アートナイト特別ワークショップⅠ「光と影のワークショップ」

江戸時代後期には、光や影に対する意識が高まり、その面白さを題材とした作品が多数生み出されました。中でも「影絵」は、時代や場所を越えて、現代でもさまざまに趣向を凝らして楽しまれています。本ワークショップでは、講師に音楽家・影絵アーティストの川村亘平斎氏を迎え、一緒にカラダを動かしながら、光と影がつくりだす不思議な世界を、あらためて体感することができます。

- ・日時:4月19日(土)18:00~18:30、19:00~19:30
- ・場所:サントリー美術館1階レクチャールーム
- ・参加料:無料 ※入館料なし
- ・対象:小学生以上



《光と影のワークショップ》

■アートナイト特別ワークショップⅡ「光と影のワークショップ～特別編～」

川村亘平斎氏を講師に迎え、光と影のおもしろさをじっくり体験する特別プログラムを実施します。

- ・日時:4月19日(土)21:00~22:30
- ・場所:サントリー美術館6階ホール
- ・参加料:無料 ※別途要入館料
- ・対象:小学生以上
- ・定員:30名 ※先着順に整理券を配布

■アートナイト特別ワークショップⅢ「ガリバースコープで不思議な世界を見よう！」

ガリバースコープとは、様々な仕掛けで両目の位置を変化させた視界が体験できるめがねです。講師として現代美術家の木村崇人氏を迎え、そんな不思議なスコープを使って、身の回りの風景を観察してみることで、私たちが当たり前と感じている視覚の不思議を体感してみます。

- ・日時:4月19日(土)15:00~17:00
- ・場所:サントリー美術館6階ホール
- ・参加料:無料 ※別途要入館料
- ・定員:30名 ※事前申込制
- ・対象:小学生以上



「ガリバースコープ」を使った
ワークショップの様子
《クリニック》

エイチ・アイ・エス本社会議室
(東京)、2001年

■フレンドリートーク

エドゥケーターによる子供から大人まで楽しめるやさしい展示解説を実施します。

- ・日時:4月20日(日)11:00~11:20、13:00~13:20、15:00~15:20
- ・場所:サントリー美術館6階ホール
- ・参加料:無料 ※別途要入館料
- ・定員:80名

<期間中の展覧会>

■『のぞいてびっくり江戸絵画 —科学の眼、視覚のふしぎ—』

江戸時代後期の日本には、蘭学の振興とともに、顕微鏡や望遠鏡など「視覚」に対する従来の常識を一変させる光学装置が海外からもたらされました。西洋の遠近法を用いた風景図や、顕微鏡による知見を取り入れた拡大図、博物学の知識を踏まえた写生図なども生まれ、江戸絵画は大きな変革期を迎えます。また、鏡や水面に映る映像、および影絵への関心も高まり、その面白さに注目した作品が多数制作されました。本展では、こうした江戸時代後期に花開いた新しい〈視覚文化〉を、小田野直武、司馬江漢、葛飾北斎、歌川広重らの作品を通してご紹介します。

- ・開催期間:3月29日(土)~5月11日(日)
- ・開館時間:10:00~18:00 (入館は閉館の30分前まで)
※金・土および4月28日(月)、5月4日(日)、5月5日(月・祝)は20:00まで開館
※4月19日(土)は「六本木アートナイト2014」開催にともない24:00まで開館
- ・休館日:毎週火曜日 ※4月29日(火・祝)、5月6日(火・振休)は18:00まで開館
- ・観覧料:一般1,300円、大学・高校生1,000円、中学生以下無料
※4月19日(土)は「六本木アートナイト割引」のため一般および大学・高校生は一律500円



<一般の方からのお問い合わせ先>
サントリー美術館(住所:東京都港区赤坂9-7-4)
TEL:03-3479-8600 <http://suntory.jp/SMA/>

【21_21 DESIGN SIGHT プログラム】 詳細追加

通常 20:00 閉館のところを、4月19日(土)は特別に24:00まで開館延長(最終入館23:30)し、私たちの暮らしにとっても身近で日々の生活に欠かせない「コメ」に着目した展覧会のスペシャルイベントを行います。

<特別プログラム>

■コメ展 × PechaKucha

21_21 DESIGN SIGHT では、六本木アートナイトに合わせ、多種多様な人々が集まり情報共有する場として、世界中に広まったPechaKuchaを好評につき今年も開催。企画展「コメ展」の会場を舞台に、クリエイター達の生の声にふれながら、新たな発見を楽しんでいただける時間となるでしょう。私たちの食文化と暮らしに身近でありながらも未知の神秘を内包する「コメ」。コメにまつわる文化的背景は多義にわたり、ときに私たちの想像を超越します。今回はスペシャル企画として、コメにまつわる世界で“突き抜けた”方々にご登壇いただきます。

コメ展 × PechaKucha™

- ・日時:4月19日(土) 20:00~22:00(途中休憩含む)
- ・場所:21_21 DESIGN SIGHT B1Fロビー
- ・司会:アストリッド・クライン/マーク・ダイサム(PechaKucha考案者、建築家)
- ・出演:計9組のデザイナーやクリエイターを予定(決定次第ウェブサイトにて順次発表)
- ・条件:予約不要、出入り自由 ※混雑時は入場を制限する場合がございます
- ・参加費:無料 ※当日の入場券が必要

<期間中の展覧会>

■『コメ展』 NEW

コメは、私たちの暮らしにとっても身近で、日々の生活に欠かせないものです。日本では、コメを中心とした食文化を深めつつ、稲作の歴史とともに様々な文化が発展してきました。本展では、私たちの文化の根幹をなすコメのありようを新鮮な目で見つめ直していきます。そして、その未来像を来場者の皆様とともに考えていきます。

- ・開催期間:2月28日(金)~6月15日(日)
- ・開館時間:11:00~20:00(入館は19:30まで)
※4月19日(土)は「六本木アートナイト2014」開催にともない24:00まで開館
- ・休館日:毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館)
- ・観覧料:一般1,000円、大学生800円、中高生500円、小学生以下無料



『コメ展』会場写真(撮影:浅川敏)

<一般の方からのお問い合わせ先>

21_21 DESIGN SIGHT (住所:東京都港区赤坂9-7-6 東京ミッドタウン・ガーデン内)

TEL:03-3475-2121 <http://www.2121designsight.jp>

【国立新美術館 プログラム】 詳細追加

4月19日(土)は、特別に22:00まで開館延長いたします。様々な展覧会やプログラムにご期待ください。

<特別プログラム>

■もうひとつの「イメージの力」

期間中に開催している「イメージの力」展のインスタレーションビューを美術館の外壁に投影し、プロジェクションマッピングします。美術館を華やかに彩るとともに、映像によって「イメージの力」展の魅力を伝えます。

- ・日時:4月19日(土)日没後～22:00
- ・場所:国立新美術館前庭
- ・観覧料:無料



写真:石井雄太

■プロジェクト大山 presents 仮面舞踏会—イメージの力、うごく! 詳細追加

ダンスユニット・プロジェクト大山が、「仮面舞踏会」と称して仮面を用いたダンスパフォーマンスを行います。来館者の皆さまにも仮面をつけていただき、仮面舞踏会の参加者のひとりになっていただきます。普段の美術館とは違った楽しみ方を体感してください。

- ・日時:4月19日(土)18:30～19:30
- ・場所:国立新美術館1階ロビー
- ・参加料:無料



小原宏貴

■Egg

いけばな小原流の家元であり、アーティストとしても活躍する小原宏貴が、根、枝、花、葉などをつかって、生命を宿す「器」=卵をつくりあげます。

- ・日時:4月19日(土)～4月21日(月)
- ・場所:国立新美術館エントランス周辺
- ・観覧料:無料

■コンサート「雅楽の響き～魅力ある日本の音世界～」

日本の伝統音楽・雅楽のコンサート。演奏は、雅楽の古典曲をはじめ、廃絶曲の復曲、正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏などに積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開する「伶楽舎(れいがくしゃ)」。初心者にも分かりやすい解説を交え、雅楽古典の名曲をお聴きいただけます。また、雅楽楽器の体験コーナーを設け、楽しみながら学べるコンサートです。

- ・日時:4月20日(日)15:00～16:30
- ・場所:国立新美術館1階ロビー
- ・参加料:無料



伶楽舎

■TOKYO_ANIMA!2014 詳細追加

若手アニメーション作家15名～20名の新作・近作を一挙上映。大スクリーンで日本の最新の短編アニメーションに触れられる数少ない機会といえるでしょう。

- ・日時:4月19日(土)、4月20日(日)各日14:30～、16:00～、17:30～
- ・場所:国立新美術館講堂、研修室A・B
- ・参加料:無料 ※入場整理券を配布予定

<期間中の展覧会>

4月19日(土)は「六本木アートナイト2014」開催にともない22:00まで開館し、入場無料です。

■『イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる』

- ・開催期間:2月19日(水)～6月9日(月)
- ・会場:国立新美術館 企画展示室2E
- ・開館時間:10:00～18:00、金曜日は～20:00(入場は閉館の30分前まで)
- ・休館日:毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館、5月7日は休館)
- ・観覧料:1,000円(一般)、500円(大学生)



神像付きの椅子
国立民族学博物館蔵

■『中村一美展』

- ・開催期間:3月19日(水)～5月19日(月)
- ・会場:国立新美術館 企画展示室1E
- ・開館時間:10:00～18:00、金曜日は～20:00(入場は閉館の30分前まで)
- ・休館日:毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館、5月7日は休館)
- ・観覧料:1,000円(一般)、500円(大学生)



《存在の鳥 107(キジ)》2006年
東京国立近代美術館蔵

<一般の方からのお問い合わせ先>

国立新美術館(住所:東京都港区六本木7-22-2) TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.nact.jp/>

【六本木商店街振興組合 プログラム】 NEW

■時計塔デコレーション

六本木交差点のシンボルの1つ、「時計塔」が一夜限りのインスタレーションアートに変身！六本木パレード《ふわりたい ながれた つなぎたい》の衣装も監修する吉田一郎氏によって素敵な夜を彩るデコレーションをご覧ください。

- ・日時:4月19日(土) 時間未定
- ・場所:六本木交差点 アマンド前

■「ルミ エルネ フードコート」

フランス語で月明かりを意味する「ルミ エルネ」。今回のアートナイトのテーマ「動け、カラダ！」をコンセプトにした一夜限りのフードコートが、六本木駅に隣接する「ラピロス六本木」にオープンします。六本木商店街振興組合の加盟店が出店し、子供から年配の方まで幅広くお食事をお楽しみいただけるメニューを用意しています。

- ・日時:4月19日(土)18:00~27:00
- ・場所:東京メトロ六本木駅 3番出口 ラピロス六本木1F ピロティ

■六本木安全安心パトロール隊 in 六本木アートナイト

「六本木安全安心パトロール隊」は、地域商店主及び住人の有志を募り、警察・都・区と連携をとりながら活動する六本木商店街振興組合の組織です。日本の犯罪率増加に伴い、六本木の街も、規律やモラルを守れない商店、商店主、そこで働く従業員、そしてそこで遊興する来街者に対し、徹底してルールを守ってもらう為に結成されました。アートナイト当日も、街を訪れる皆さんが安心して歩ける、きれいな六本木の街づくりの為に出勤します。

- ・巡回期間:4月19日(土)~4月20日(日)「六本木アートナイト2014」開催時間中

■「第6回六本木フォトコンテスト」

六本木の素顔を街の人々が様々な角度から切り取ったフォトコンテスト。入選作品は東京ミッドタウン内のフジフィルムスクエアにて写真展形式で発表いたします。

- ・日時:4月18日(金)~5月1日(木)10:00~19:00 ※最終入場は閉館10分前まで
- ・場所:東京ミッドタウン内 フジフィルムスクエア
- ・参加費:無料

【ホテル協力企画】

「六本木アートナイト 2014」開催にともない、グランド ハイアット 東京とザ・リッツ・カールトン東京にて特別企画を実施します。

■グランド ハイアット 東京 コラボレーション

「六本木アートナイト」を楽しみつくす、グランド ハイアット 東京での特別宿泊プラン。

夜を徹して開催される多彩なアートイベントを満喫した後は、ぬくもり感溢れる客室でくつろぎのひとときをお過ごしください。

グランド ルーム(42㎡)での宿泊+六本木の美術館 4館(森美術館、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館)へ入場できる特別券をプレゼント。(1回のご滞在につきお一人様1枚)

- ・期間:4月19日(土)~4月26日(日)
- ・価格:1室1名 36,612円~68,342円、1室2名 42,714円~74,444円(税・サービス料込、宿泊税別)
- ・プレスのお問い合わせ先:グランド ハイアット 東京 マーケティング コミュニケーションズ(TEL:03-4333-8882)

■ザ・リッツ・カールトン東京 六本木アートナイト・エキスペリエンス

「六本木アートナイト」を存分にお楽しみいただけるよう、ザ・リッツ・カールトン東京では特別宿泊プランをご用意。夜が更けるにつれて魅力を増すアートイベントやパフォーマンスをご堪能いただいた後は、ザ・リッツ・カールトン東京のおもてなしで寛ぎのひとときをお過ごしください。

- ・期間:4月16日(水)~4月20日(日)
- ・内容:客室「デラックス」(52㎡)でのご宿泊+六本木の美術館 4館(森美術館、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館)へご入場いただける特別券をプレゼント。(1回のご滞在につきお一人様1枚)
- ・価格:1名様2名様同額で48,000円(税・サービス料、宿泊税別)
- ・プレスのお問い合わせ先:ザ・リッツ・カールトン東京 セールス&マーケティング部(TEL:03-6434-8708)

■六本木アートナイト 2014 アット ザ・リッツ・カールトン東京 -エボリューション[進化]-

ザ・リッツ・カールトン東京は、アーティスト小林和史をはじめとするパフォーミングアーツユニット「エ -こう - (ARAKI SHIRO ,ame. 他)とタッグを組み、「エボリューション」と題し、アートインスタレーションとダンスパフォーマンスを主催します。キャノピースクエアに面した1階ホテル入口に於いては、4月19日午前10時からアート作品の展示が行われます。同日の午後10時から同じく1階ホテル入口から、「ダンスのルーツ」を表現すべく、古代からクラシックバレエに至るまでの過程をパフォーマンスにした公演がスタート。公演の進行とともに舞台を45階ロビーに移し、過去から現在、そして未来に向けた音楽、そしてフードとカクテルの進化「エボリューション」をテーマにしたアートエンターテインメントをお楽しみいただけます。ジャンルを超えて集結したアーティスト達の競演に酔いしれる夜、この機会をお見逃しなく。

【各館ショップ・レストラン・カフェ・ギャラリー情報】 **詳細追加**

アートナイト期間中、美術館や各施設を含む六本木の街のショップ、レストラン、カフェ、そして六本木の街に集結しているギャラリーでも、スペシャルイベントの開催や営業時間の延長、また公式ガイドブックを持参することで受けられる特別割引などを実施します。「六本木アートナイト 2014」の参加店舗および参加ギャラリーの詳細は、確定次第ホームページでご案内します。

<六本木ヒルズ>

■ショップ・カフェ・レストラン特別サービス

六本木ヒルズ内に多数あるショップやレストランでは、ガイドブックの提示で、ワンドリンクプレゼントや、お買い上げ料金がお得になるなど、アートナイトの夜をお得にお楽しみいただく企画が盛りだくさんです。

■MADO LOUNGE & ASOBISYSTEM presents

“ASOBIART”@マドラウンジ+Andy Warhol Café

アート×音楽×ファッションをキーワードに、ポップ・アートの巨匠 アンディ・ウォーホルの世界観からインスパイアされた豪華出演者達による現代のポップ・カルチャー・シーンが体現できるスペシャル・コラボレーションイベントです。

- ・日時/場所: 4月19日(土)21:00~20日(日)5:00 @マドラウンジ(東京シティビュー内)
4月19日(土)24:00~20日(日)5:00
@マドラウンジ スパイス「Andy Warhol Café」(東京シティビュー内)
- ・出演: 中田ヤスタカ(CAPSULE)、RAM RIDER、80KIDZ、DE DE MOUSE、
SOUCUTS a. k. a. UCHIDA(vetica)、増田セバスチャン、やのあんな、Yun*chi、他
- ・料金: 当日5,000円/前売4,000円
- ・前売プレスガイド: イープラス <http://eplus.jp/asobiart> (PC・携帯・スマートフォンからアクセス)



中田ヤスタカ



増田セバスチャン

<東京ミッドタウン>

■ショップ・カフェ・レストラン特別サービス

東京ミッドタウンプラザ 1F のカフェ&レストランは今年も営業時間を延長いたします。さらに、Tokyo Midtown Award デザインコンペ受賞作品の「富士山グラス」でビールを提供する店舗も登場します。

■「MARTINI Blossom Lounge」営業時間延長

世界 No.1*イタリアンスパークリングワイン「MARTINI (マルティーニ)」とともに、スタイリッシュな空間で春の訪れを楽しめる屋外ラウンジが、アートナイトの夜に限り営業時間を延長いたします。

※IWSR2012年調べ

- ・日時: 4月19日(土)12:00~23:00/4月20日(日)12:00~20:00
- ・場所: 東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン さくら通り沿いエリア



<サントリー美術館>

■shop × cafe **NEW**

4月19日(土)はショップも24時まで営業!また、アートナイト期間中はアートナイトセールを開催。カフェではガイドブック持参の方にドリンク5%割引を実施します。

- ・営業時間: 4月19日(土) ショップ 10:30~24:00/カフェ 11:00~20:00(L.O. 19:30)
4月20日(日) ショップ 10:30~18:00/カフェ 11:00~18:00
- ・場所: サントリー美術館 shop × cafe

<国立新美術館>

■レストラン・カフェ営業時間延長&特別サービス **NEW**

4月19日(土)は国立新美術館1F~3Fの3つのレストラン、カフェが22時まで営業延長!レストラン「ブラスリー ポール・ボキューズ ミュゼ」では、ディナーご利用の方にお菓子をプレゼントします。

■ミュージアムショップ特別プレゼント

4月19日(土)は国立新美術館B1F、1Fのミュージアムショップ「スーベニアフロムトーキョー」にてお買い上げのお客様全員にオリジナルポストカードをプレゼント。さらに4月19日(土)、20日(日)に本ショップで5,000円以上お買い上げの方に、オリジナルキャンバスバッグをプレゼントします。

<六本木商店街振興組合>

■ショップ・カフェ・レストラン特別サービス **NEW**

六本木商店街振興組合に加盟する多数のお店も、六本木アートナイトに参加。夜通し行われるアートの祭典を楽しむ参加者の皆さんをお迎えするための特典や企画を用意し、また営業時間延長なども行います。

【六本木アートナイト 2014 アーティスティックディレクター 日比野克彦プロフィール】

1958年岐阜市生まれ。東京藝術大学大学院修了。1986年シドニー・ビエンナーレ、1995年ヴェネチア・ビエンナーレに出品。領域横断的、時代を映す作風で注目される。2003年、越後妻有アトリエンナーレで[明後日新聞社文化事業部]を設立、明後日朝顔プロジェクトの活動を開始。2005年水戸芸術館[HIBINO EXPO]、2007年金沢 21世紀美術館[「ホーム→アンド←アウェー」方式]、熊本市現代美術館[HIGO BY HIBINO]など個展を開催。2007年より「種は船」を金沢・横浜・鹿児島・種子島などで造船。2010年より3カ年かけて制作した自走式の船で2012年「種は船航海プロジェクト～from 舞鶴」で3ヶ月間航海を実施。2013年は東北を中心に活動の幅を広げ、様々な地域の人々と共同制作を行いながら、受取り手の感受する力に焦点を当てたアートプロジェクトを展開し、社会で芸術が機能する仕組みを創出する。また、2010年よりサッカーW杯にむけ、スタジアムでスポーツとアートの交流をはかる「MATCH FLAG PROJECT」を開始。2011年には復興支援活動「HEART MARK VIEWING」を立ち上げ、モノを作る喜びを取り戻すきっかけを作り、人と人を繋ぐ試みを行う。2012年「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」総合プロデューサーを務め、2013年 瀬戸内国際芸術祭 2013において、海の底の時間に焦点をあてた「瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト『一昨日丸』」を実施。他、川崎市岡本太郎美術館・横須賀美術館に企画展を開催。現在、東京藝術大学教授、日本サッカー協会理事を務める。



【六本木アートナイト 2014 開催概要】

■正式名称：六本木アートナイト 2014

■開催テーマ：「動け、カラダ！」

■基本理念：「六本木アートナイト」は六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木の街に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させて、非日常的な体験をつくり出します。そして、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案します。また、アートと街が一体化することによって、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市における街づくりの先駆的なモデルを創出します。東京を代表するアートの祭典として、さらなる発展を続けます。

■日時：2014(平成26)年4月19日(土)10:00～4月20日(日)18:00

<コアタイム> 4月19日(土)18:17【日没】～4月20日(日)5:03【日の出】

※コアタイムはメインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯です。

■開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

■入場料：無料（但し、一部のプログラムおよび美術館企画展は有料）

■主催：東京都、アーツカウンシル東京・東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】

■共催：港区

■協力：経済産業省

■公式サイト：<http://www.roppongiartnight.com>

■一般問い合わせ先：03-5777-8600（ハローダイヤル） 営業時間：年中無休 8:00～22:00

報道関係の皆様のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局（株式会社プラチナム内）

担当：福田、丸山、北田 TEL:03-5572-6072 FAX:03-5572-6075 MAIL:roppongiartnight@vectorinc.co.jp

